

# 農 業 委 員 会 報

磐田市農業委員会



## … 実りの秋、地域を支えるお米づくり ……………

ジャンボタニシの被害が増えているなか、米農家は様々な工夫を行っています。  
被害を抑えるためには、この冬の対策が重要です。  
地域全体で、防除に取り組んでいきましょう。（詳細は3ページをご覧ください。）

# ジャンボタニシから 水田を守るために

～ 農閑期にできること ～



農林水産省HP  
スクミリンゴガイ  
被害防止対策に  
ついて



ジャンボタニシの成貝

## ジャンボタニシ(スクミリンゴガイ) を撃退しましょう

ピンク色の卵が特徴のジャンボタニシは、柔らかい苗を好み、水稻をはじめ、レンコンやイグサなどの水田作物に甚大な食害をもたらします。繁殖力が高く、容易に越冬もすることから市内でも被害が報告されています。被害防止のために、普段の作業を少し改善し、豊かな水田を守りましょう。

### 対策のポイント

- ① 田が乾燥して固い状態で、細かく(PTO2連)ゆっくり(約1.4km/1h)耕起し、貝を破砕する(3回の耕うんで破砕効果は2.7倍に)。
- ② 深水部分を作らないよう田面の均平をとり、代掻きを丁寧に行う。
- ③ 用水路での越冬を防ぐため、水路の泥上げを行う。



ジャンボタニシの卵



食害を受けた水田

### 注意

貝は寄生虫が感染している可能性があり、卵塊には天敵から身を守るための毒性があります。駆除の際には、素手で触らずにゴム手袋や Tong などの使用しましょう。

〈参考文献等〉農林水産省HP  
「スクミリンゴガイ防除対策マニュアル(移植水稻)」清水健(2022)植物防疫76 千葉県農林総研報14」

ご存じですか？

## 経営所得安定対策



### 経営所得安定対策とは？

水田を活用し、主食用米以外の対象となる作物の生産・販売を行った農家に対して、交付金を給付する等、国が実施する政策です。

### 主な支援

#### ○ 水田活用の直接支払交付金

水田で主食用米以外を作付けた場合に支払われる交付金

対象作物	交付単価
麦・大豆・飼料作物	3.5万円/10a
加工用米	2.0万円/10a
飼料用米・米粉用米	5.5万円～10.5万円/10a
高収益作物(野菜・花き)	3千円～1.0万円/10a
加工用米の低コスト生産取組助成	1.2万円/10a
その他の生産性向上取組助成	3千円～4千円/10a
地域設定取組助成	1千円～4千円/10a

\*出荷契約書・販売伝票等の提出が必要です。

#### ○ 畑作物の直接支払交付金(ゲタ対策)

麦、大豆、そば、なたねなどを生産・販売した場合に支払われる交付金

対象作物	交付単価
麦・大豆・なたね	2.0万円/10a(数量払いの先払い)
そば	1.3万円/10a(数量払いの先払い)

\*数量払いは、生産量と品質に応じて交付されます。

#### ○ 収入減少影響緩和交付金(ナラシ対策)

米、麦、大豆等の当年産収入額の合計が標準的収入額を下回った場合にその差額の9割を補てんする交付金

\*ゲタ、ナラシ対策の支援の対象となるのは、認定農業者、集落営農、認定新規就農者です。

\*各種交付金の交付単価は、令和6年度のものとなります。

### 令和7年度営農計画書を、3月上旬よりお届けします

磐田市農業再生協議会では、その年の水稻や転作作物の作付、水田の管理計画(休耕や自己保全管理等)を把握するため、市内に水田を所有・耕作する全ての方に営農計画書を送付しています。

営農計画書は、農業者の皆さまへの支援策等を検討するための重要な資料ですので、提出にご協力をお願いいたします。また、同封の「経営所得安定対策について」(しっぺい表紙の冊子)には、磐田市での取組状況や制度の詳しい情報が記載されています。こちらも併せてぜひ、ご覧ください。

問い合わせ 農林水産課 農林水産振興グループ 電話 0538-37-4813





## 農業者年金の掛け金見直しを

農業者年金は農業者なら誰でも入れる終身年金です。  
積立方式であり、少子高齢化の影響を受けません。  
加入してからしばらく経過した方や経営が安定してきた方など、保険料の見直しはいかがでしょうか。

### メリット

- ・支払った保険料は全額社会保険料控除の対象！
- ・保険料の運用益は非課税！
- ・将来、年金で受け取る時も控除の対象！

### 保険料を見直してみて

農業者年金は数年前から加入しました。もともと夫が加入していましたが、私が加入する時に夫の掛け金も見直しました。当時夫は、掛け金の1万6千円と国庫補助の4千円、合計2万円を毎月支払っていましたが、国庫補助がなくなった後も、通常加入の最低金額2万円のままでした。農業委員会に相談し、受給額を試算したところ、年金としてもらえる金額が少なかったことから、金額の見直しを行いました。現在加入している方も、経営が安定した段階や子供の教育費が落ち着いたタイミングで保険料の見直しをしてみるのもいいかもしれません。

旧制度では、高齢世代の年金給付をその時々の現役世代（＝加入者）の保険料で賄う「賦課方式」でしたが、現在は積み立てた保険料とその運用益により将来受け取る年金額が決まる「積立方式」で、加入者数や受給者数に左右されず長期的に安定した運用をしています。



農業委員会会長 大箸 千賀子さん

### 女性農業者のみなさんへ

農業者年金は、「終身年金」のため、女性の長い老後をサポートします。認定農業者等で青色申告している方と家族経営協定を結ぶなどの一定の要件を満たせば、保険料の国庫補助が受けられます。加入を検討されている方は、ぜひ農業委員会に相談してみてください。

## 農業委員会にご相談ください！



### 農地利用最適化のために

農地所有者から耕作できなくなった農地の利用方法の相談を受けたり、担い手から規模拡大するために必要な農地の相談を受けたりすることがあります。真摯に相談を受け、解決のため農業委員、推進委員、事務局が一丸となって取り組んでいます。農地所有者と担い手のマッチングがうまくまとまることで、担い手への農地集積が進み、耕作放棄地の解消、発生防止につながっています。

○磐田市農業委員会会長  
大箸 千賀子（豊岡地区）

地区名	農業委員
磐田北部地区（大藤・向笠・岩田・見付）	村田暢之
磐田東部地区（西貝・南御厨・御厨・田原）	石野計美 田中昌孝
磐田西南地区（長野・天竜・於保・中泉）	石川良二 鈴木千智 安田正晃
福田地区	溝口貴也 大橋安男
竜洋地区	小城寿子 鈴木則和 藤原隆 池田藤平
豊田地区	角田誠哉 澤田和孝
豊岡地区	鈴木陽介 佐野一正 大箸千賀子 鈴木茂仁

## 農業委員会の業務

- ・農地法などに基づく権利移動の許認可
- ・農地などの利用の最適化の推進
- ・農地に関する調査、相談
- ・農地バンク法に基づく利用権設定等促進事業
- ・耕作放棄地の調査と解消事業
- ・農業者年金制度の推進 など

## 令和6年 磐田市賃借料情報について

令和6年中に締結（許可・公告）された賃借による10aあたりの賃借料水準は、次のとおりです。

作 目	平均額	最低額	最高額	賃借データ数	使用賃借を含む状況	
					使用賃借データ数	使用賃借を含む平均額
水 稻	9,000円	1,500円	12,000円	1,095筆	112筆	8,200円
野 菜	4,200円	1,000円	12,000円	492筆	177筆	3,100円
茶	5,100円	1,000円	15,000円	168筆	115筆	3,000円
果 樹	7,800円	5,000円	18,000円	38筆	20筆	5,100円
飼料作物	3,900円	1,000円	4,000円	56筆	3筆	3,700円

※物納や施設栽培（ハウス、温室）、営農型太陽光による賃借分は、集計から除外しています。  
※金額は、100円未満を四捨五入しています。 ※「花木」については、契約実績が少ないため除外しています。

### 小城寿子委員（竜洋地区）



農業の良いところは、誰でもいつでもどこでも始められるところ。特別な資格は要りません。また、経営形態や規模もさまざまで、週末農業から大規模農業まで、多様な働き方が可能です。

磐田市農業委員会では、農地利用にまつわる事柄のほかに、新規就農についての相談も随時受け付けています。地元農家と新規参入者が協力し、磐田市の農業を今後も盛り上げていきましょう。

### 鈴木陽介委員（豊岡地区）



豊岡地区で水稲と茶を耕作しながら、農業委員を務めています。農業は昔ながらのやり方が残るものも多いですが、自分のスタイルを見つけやすい仕事です。農業委員活動や茶の研究会等に参加し、農家同士で情報交換すると、ひとりひとりの成功があるなど実感します。

最初から大規模でなくても、農業は始められます。楽しみながら自分らしいスタイルを見つけ、農業の魅力を一緒に広めていきましょう。

新しく農業を始める方を応援します！

## 1アールから始める農業応援制度

問合せ 農林水産課農地管理グループ ☎0538-37-4813

本市では、小規模な農地の有効活用と新たな担い手の確保を目的に、「1アールから始める農業応援制度」を創設しました。今まで借手がいなかった農地についても有効活用が進んでいます。

「農業を始めたい」「自分で育てた野菜を売ってみたい」など農作物の生産・販売に興味のある方はご相談ください。

### 制度概要

- 対象農地** 1アール以上10アール未満
- 対象者** 市民農園、家庭菜園等による農作業の経験がある方や、農業に関する各種学校の在籍実績がある方  
農作物の出荷を目的として、農地を借りたい方
- 貸借期間** 3年間  
※年に一度利用状況の報告があります。

磐田市の特産品で就農する方を応援します！

## 海老芋承継事業

問合せ 農林水産課農林水産振興グループ ☎0538-37-4813

海老芋は磐田市が生産量日本一を誇る、市を代表する特産品です。今年度も1名の研修生が独立就農を目指し奮闘しています。海老芋の生産にご興味のある方がいらっしゃいましたら市までご連絡ください。

### 海老芋承継事業って？

令和2年度より、市とJA遠州中央、海老芋生産者が連携して、海老芋産地の維持・拡大を目的とした磐田市特産品(海老芋)承継事業をスタートさせました。

海老芋の栽培には特別な技術が必要で、素人が容易に参入できるものではありません。この事業では、栽培技術をしっかりと身につけるため、1年間、熟練の現役生産者のもとで学び、将来に繋げるものとなっています。

### 研修内容

- ①生産技術に関する研修
- ②農業機械・機器の取り扱い・整備に関する研修
- ③販売や流通・マーケティング等に関する研修
- ④経営管理に関する研修



### 一ノ瀬 豊さん

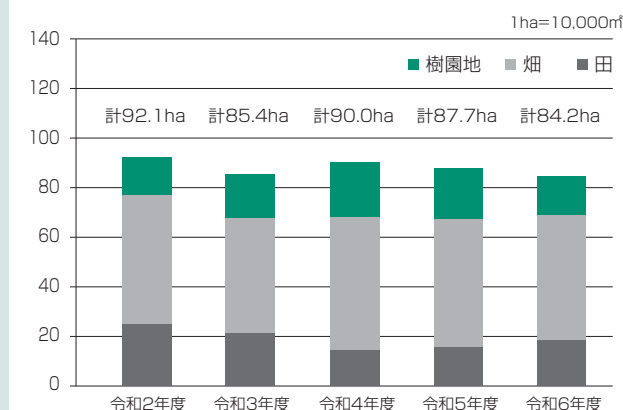
就農に向けて着々と準備を進めています。不安はありますが、前進あるのみです！

令和6年度

## 農地利用状況調査結果について

農業委員会では、市内の農地がどのように利用されているのか、毎年1回調査を行っています。今年度も7月～11月にかけて、農地の利用状況を確認しました。

### 耕作放棄地の面積推移



### 調査体験談

竜洋地区農地最適化推進委員  
林 ちえ子さん

農作業の合間に、農地パトロールを行っています。農地の適正な利用を目指して、耕作されていない農地は地域の農業者や、新規就農者に紹介しています。

### 耕作されていない農地の管理をお願いします

毎年梅雨明けから秋口にかけて、耕作されていない農地の雑草が繁茂し、隣接する農地の農作物の生育や住宅地の環境に悪影響を及ぼしています。農地を所有している方は、農地に雑草が繁茂しないよう適正な管理をお願いします。

耕作放棄地を有効活用する農業者を支援します！

## 荒廃農地再生事業

問合せ 農林水産課農地管理グループ ☎0538-37-4813

荒廃農地等を引き受けて営農を再開するために行う再生作業、土壌改良等の整備を総合的に支援します。(事業費：200万円未満)

### 制度概要

- 対象農地** 農業委員会が荒廃農地として判定した農地、中間管理事業で権利設定した農地
- 対象者** 認定農業者、認定新規就農者等  
※再生後5年間以上耕作する必要があります。

### 再生前



### 再生後





# いわたで レモン

## 新たな特産物 産地形成事業費 補助金

市内で新たに販売を目的として  
レモンを栽培するための費用を補助します  
(令和6年度事業)

### レモンを作るための畑の整備を補助

障害物等除去経費補助事業

#### ●対象経費

レモンを栽培する農地の  
障害物除去、整地、土壌改良費用等

#### ●補助額

対象経費の **2 / 3** まで

#### ●補助上限 **50**万円

※完了報告時に事業実施前後の写真が必要です

### 収穫までの資材費等を補助

未収益期間栽培管理支援事業

#### ●対象経費

レモンを定植してから収穫までの  
未収益期間に係る資材費等

#### ●補助額

(定額) 10アールあたり **5** 万円

※交付単位:アール

#### ●補助上限 **15** 万円

※1つの圃場で最大3年間の補助を受けられます  
(15万円×3年=45万円)

### 対象の方

※以下すべてに当てはまる方

- ☑市内の方・市内に事業所を有する方
- ☑市内の農地の所有・借受が合計10アール以上ある方
- ☑市税の滞納がない方

### 共通要件

※すべて満たすこと

- ☑5年以上レモンを栽培・報告をすること
- ☑市内の農地10アール以上にレモンを定植すること



問い合わせ

#### ●補助金に関すること

磐田市 農林水産課 TEL 0538-37-4813

#### ●栽培方法・苗等に関すること

JA遠州中央 園芸課 TEL 0538-36-7018

詳細は  
市ホームページ



様式のダウンロード、  
電子申請もできます

令和6年度の申請メ切は令和7年2月28日(金)です! ご検討中の方はお早めにご相談ください。



編集後記

農地に関する相談は年々増えています。農業者さんに相談させていただくことも多く、一筋縄ではいかないと感じています。最近では農業を取り巻く環境が日々変化し、農業者の皆さんから学ばせていただくばかりです。効率的な耕作の助けとなれるよう、アンテナを高くして業務に励みたいと思います。⑭

**全国農業  
新聞**

農家の経営と  
くらしに役立つ  
情報をお届け  
します。

発行日/毎週金曜日  
購読料/1か月700円 口座振替払い  
お申し込み/農業委員会事務局